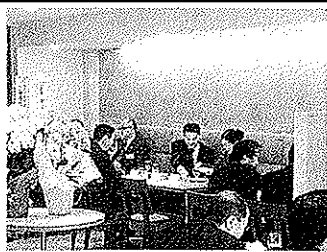


KANEHON

# 大谷石塗り壁材拡販

## まずカンセキ真岡店に

石材商品開発・販売の  
KANEHON（宇都宮  
市、高橋卓社長）は宇都  
宮特産の大谷石の粉末や  
端材を原料として使った  
塗り壁材「大谷塗」を拡



販する。家庭用品卸の浅  
野（宇都宮市、浅野圭蔵  
社長）と組み、一般消費  
者向けの販路を開拓。自  
然素材にこだわるハウス  
メーカーや中小工務店へ  
の提案も強化する。大谷  
石特有の質感や加工しや  
すさ、消臭効果などを売  
りに利用拡大を図る。  
一般向けではまず、地  
場資本のホームセンター  
JR宇都宮駅西口の「オート  
ワキッチン」でも採用

であるカンセキでの取り  
扱いが決まった。真岡店  
（栃木県真岡市）に試験  
納入し、他の店舗に順次  
広げてもらう。浅野と協  
力し、他のホームセンタ  
ーにも営業をかける。  
先行して工務店などへ  
の出荷も開始。JR宇都  
宮駅西口のホテル1階に  
出店した「オートワキッ  
チ」やギョーザの「宇都  
宮みんみん駅東口店」な  
どで採用された。初年度  
売り上げは数百万円程度

で見込むが、数年で1億  
円規模に育てたい考え。  
大谷塗は大谷石の粉末  
や端材に樹脂を混合。ひ  
び割れしにくく加工しや  
すい配合割合を工夫し、  
約7年かけて開発した。  
価格は3・3平方メートル（1  
坪）分で7800～88  
00円程度。板材をはる  
工法に比べたコストは約  
10分の1としている。  
シックハウス症候群の  
原因物質とされるホルム  
アルデヒドの除去や脱臭  
・調湿の性能も日本食品  
分析センター（東京・浜  
谷）などに依頼し検証。  
同様の効果があるとされ  
る市販のけい藻土を上回  
る結果を得たという。

手を組み合わせたものは  
珍しいという。

組み合わせた工夫をするこ  
とで、全体の強度も外国

# 北関東—景気の行方

## 100社の11年見通し

目録

「2月」から「来古」まで、2月、アースデンキ水戸本

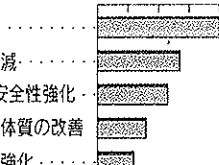
# 刺激



度変更の影響が懸  
切売りは堅調に推移  
（デンキ水戸本店）

## の主な経営課題

社 0 10 20 30 40



栃木県が6日まとめた  
2010年10月の景気動  
向指数（CI）、2005  
年1100）は景気の現  
状を示すCI一致指数が  
前月比2・0%低下の97  
・2となった。一致指数  
の低下は2カ月連続。一  
き、数カ月半年先の景  
景

# 景況感

10月

